

“ふじのくに”士民協働事業レビュー結果

施策(中柱)	誰もが暮らしやすい社会の仕組みづくり
--------	--------------------

1 基本情報

実施日/班名	9月7日 第3班	時間	15:30~16:16
--------	----------	----	-------------

2 レビューの結果 今後の方向性

結果	事業名	重点化	縮小
	NPO推進事業費	10	11
	コミュニティ施設整備費助成	12	12
	ユニバーサルデザイン推進事業費	4	18
	男女共同参画推進事業費	6	8

3 県民評価者の意見

(1)見直し・改善策

- ・コミュニティ施設整備推進自体は防災の面からも重要であり、さらに強化の要あり。
- ・すべての市町にユニバーサルデザイン担当者が設置されている状況からは、県がこれ以上かわる必要はないのでは？
- ・NPOはチェック機能の充実が必要。NPOの活動は今後も活発化要。
- ・コミュニティ施設整備費 ソフト面への事業のシフトが必要。ただし、まだ必要地区は有り。
- ・ユニバーサルデザイン推進事業費：教育分野への重点化が必要。テーマは重要だが手法は見直して欲しい。UDにこだわるべきではない。
- ・男女共同参画推進事業費：今の方法ではテーマとして時代にあっていない。見直し必要。UDに織り込んで良いのでは。
- ・コミュニティ施設に対する整備費ではなく、人と人とのつながりに費用を掛ける仕組みに見直ししてほしい。(ということで判定は)
- ・男女共同参画推進事業の浸透性が高くなる工夫、検討をお願いします。
- ・コミュニティ施設整備は、地域コミュニティの活躍の場として非常に価値があり、それにNPO法人と関連することによって、地域の力、向上する要因となりえるように思える。
- ・コミュニティは、市町・自治会(地区)へ任せる。
- ・ユニバーサルデザインは市町の事情それぞれあり、それに沿って解決していくべきで、一度見直すべき。
- ・男女共同参画は、時代に即応していくため、その潮流になろう。従って、「あざれあ」の名称も変更し、教育、啓蒙に重点を置くべき。また、世代交代が進むことにより解消される可能性あり。
- ・コミュニティ施設整備費：既存のしっかりした施設を皆で使用する。そこでコミュニティの力が強く結ばれていくという指揮を県がとるべきと思う。老人にいいの家、自治会集会所、防災備蓄庫等、小さな建物が、使用頻度が低く空き家になっていないか。ある日は老人たちが集まっていて、自治会の会計報告会も重なっている。今ある施設を充分活用したら良い。
- ・UDと男女参画は一緒に仕事ができると思う。基本に「差別」ということがある。それのない世界を静岡県は目指していくのだという思想の元に、統合できる事業がたくさんあると思う。基本の思想は何かの形にできるものではなく、形のない「思想」です。その思想そのものを、確かなものにし、共有していくことにお金を使っていいと思います。
- ・目的を再度明確にし、成果が具体的に見える形で取り組んでみる必要がある。

- ・レビュー全体より、成果指標についてもう一步踏込んだ内容にしないと、型だけのものになって目標達成出来ているとは言えない。・県は、県民に対してもっと情報開示が必要である。
- ・UD事業はあまりにも高い目標があり、重点的に整備、啓発事業をすべきものではない。
- ・県事業費の削減＝市町事業費の増額はやってはいけない方針である。これにより本来のコミュニティ事業の目的は失われる可能性があります。県の役割は、国とのパイプ役ではなく戦略的に行政運営を目指す必要があります。市は県の補助がなくなれば同じようにカットすると思えます。
- ・目的を「ふじのくにNPO活動センターの運営を通じ、NPOを地域を担う主体として自立させ...」と変え、あくまでも県が主体で伸張させていくべきである。
- ・施策事業において、あまり効果がなければ切除、残すべきものは残す（ユニバーサルデザインの推進）
- ・県民目線で見れば、地域コミュニティの強化は今必要だ。（助けが必要な人ほど、集会所は居づらい。引きこもりの人のためにも）
- ・つぎ込んだ支援が生かされていなければ縮小すればよい（男女共同参画推進）
- ・安心安全のために地域コミュニティの必要性を感じる。NPOは、委託して経費が多いのはどうかと思う。
- ・ユニバーサルデザインの発表の場を増やしたい。
- ・NPO、コミュニティ、UDの事業を一つの小柱にすることはできないでしょうか。3つとも、とても大切に思います。東部地域にとって遅れた部分を指導してもらいたく思います。
- ・コミュニティ施設整備事業：地域性に合ったものを強化する。災害時等、隣近所のつながりが必要である。
- ・自然環境の保全活動は、長期に取り組んでもその効果は顕著に現れるものではありません。行政と地方の皆さんと、自然の専門家を含めたネットワークを維持していかなければ、自然の再生はできない。
- ・コミュニティ施設整備助成はその他の事業に統合した方が、効果が高いと思われるので、今後縮小すべき。又は、コミュニティ熟成に特化した事業に特化（目的の再検討）が必要。
- ・NPO推進事業は、NPOの活動内容と実績を精査の上で、必要性を再検討して推進してほしい。
- ・コストメリットに対する評価を厳しく行い、根本的な見直しもして行ってほしい。いずれの事業も評価指標が直接的である感じがしない。
- ・もっとソフト面を考えることが必要。コストパフォーマンスを上げる努力を。
- ・NPO法人の仕分け、社会に必要とされる事業に力を入れる。高齢化社会を迎え、より重要な事業の推進を。（判定はNPO推進事業費、コミュニティ施設整備費助成に）
- ・（コミュニティ施設整備費助成）防災を中心に見直してほしい。県の補助は必要。
- ・（ユニバーサルデザイン推進事業費）目標を細かく定めて縮小するほうがよい。
- ・すべての事業が熱心に取り組んでいるように感じられました。共通するのは、県民に幅広く知り渡らせることと、県民も1人1人が意識を持つことも大切です。（県民の責任として自覚していくこと）
- ・コミュニティ施設整備費助成については、防災の面より考えて重点的に実施。
- ・ユニバーサルデザイン推進事業費は、ハード面ではなくソフト面（心のユニバーサルデザイン）の充実をはかるために必要と考える。
- ・ユニバーサルデザイン推進事業は、児童生徒の教育の向上に効果が高いので重点的に実施すべき。
- ・コミュニティ施設整備費助成は不透明なところがあるので縮小すべき。
- ・（コミュニティ施設整備費助成）完成形はありえないから、むしろ崩壊したコミュニティ対策として「限界集落」対策を考えたほうがいい。
- ・コミュニティ施設整備費助成は、防災面からも必要。
- ・ユニバーサルデザイン推進事業費は、ソフト面等の見直しが必要ではないか。
- ・男女共同参画推進事業費も同様に見直しが必要である。
- ・部局の体制の再構築。

- ・ N P O 推進事業費は、人材育成を行う適切な組織運営を望む。
- ・ コミュニティ施設整備費助成は、地区センターや公会堂建設に多額の費用がかかるので、見直して継続（市町村へのしわ寄せがないようにして）。
- ・ ユニバーサルデザイン推進事業は縮小すべきとは思いませんが、他の事業予算等の減少があるならやむを得ない。
- ・ 今回の対象事業よりも、緊急性の高いものを優先してほしいです。
- ・ どの事業に関しても、目的に対しての活動指標が直接的に関与している部分があまり感じられなかった。指標を適切なものにして活動をしてほしい。
- ・ ユニバーサルデザイン推進事業は、結果的に「暮らしにくい」と感じている人が減っているのか疑問がある。取り組み内容が結果につながる活動となるようにしてほしい。
- ・ 成果指標の内容があまりにも不明確、不十分に感じた。せっかくアンケートをとったのであれば、その結果をコミュニティや N P O、 U D の企業等に反映されていくことによって初めてこの事業の目的が達成されるのではないか。自分の会社でもそうだが、とかく会議や大会をはじめると、長年やっていく中でなかなか変えていけない、毎年少しずつでも変えていくことによって次の段階に進められるのではないか。県の皆さんには努力している今の内容を目標設定を再度明確にし直して、再調整をしていただければありがたい。

(2) その他の意見

- ・ 市町をもっとリードする具体的な分かりやすい活動に各々を提示してほしい。
- ・ N P O 推進事業費は時代の成長戦略です。
- ・ 男女共同参画推進事業費：女性の活動の場。地位向上は必要であって職員が紅一点から全職員が紅百点で活躍して欲しい。
- ・ N P O は、今後変わろうとしていく中で育成していくべきである。ただし、それは市町では無理であるので、県からやらざるを得ないため。
- ・ グランシップ等、県の施設と市町の施設の二重投資回避を。
- ・ コミュニティ施設の整備の必要性は、防災、高齢化社会を迎えますますます高まる。
- ・ 男女共同参画については、男女とも文字通り一丸になって取り組んでほしい。
- ・ N P O については県民にとって見えにくい存在だ。
- ・ 事業仕分けにて受けた評価が活かされていない事業が多いように感じました。県側のひとりよがり、県民ニーズに沿っていない。
- ・ 単独の課ではなく、複数の部署で行っている事業（関わっている事業）は、単独のレビューは行わない。総合評価が必要。
- ・ N P O 推進事業費、男女共同参画推進事業費に 。目的が大きいのので推進してほしい。
- ・ (N P O 推進事業費) 多方面で行政と協力しあい、県民のために有効に。
- ・ (N P O 推進事業費) 活動センター等の管理者だけで予算額が必要なのか。
- ・ (コミュニティ施設整備費助成) 施設を整備するだけで、コミュニティの環境づくりが出来るのか。
- ・ (ユニバーサルデザイン推進事業費) 自分が知らなかったのもあるが、 U D の周知度が低い。
- ・ N P O 推進については、県はさほど手を出さなくてもよいのでは。
- ・ 「誰もが暮らしやすい社会」とは再考が必要。具体化。何が必要。ソフト面？ハード面？よく解らないです。
- ・ (男女共同参画推進事業費) とにかく「正義」は吾にあるのだからぶれずに進むべき。
- ・ ユニバーサルデザイン推進事業費は県の取組体制に疑問。
- ・ 楽しい一日でした。県の方々が考えていて下さったことに参加でき、本当に自分の中で驚くことがたくさんありました。下田ではまだまだ発展しておりません。力を貸してくださいね。

- ・私は放課後児童クラブの指導員をしているので、子育てに関する事業に興味があり、事業レビューも簡単なアンケートで興味のある分野に参加したかったと思います。現在、児童クラブの子どもや保護者を見ていると、世間の見方とは違うかもしれないが、児童クラブを利用していない家族が平等でないのではないかと感じる。児童クラブを日ごろ利用していると、保護者が仕事休みの場合でもクラブを利用し、保護者が私用で丸1日リフレッシュしているのに対し、他の家族では子供達の下校時間までをうまくやり繰りしている。しかし、家族が入院したり、介護が必要になっても急に児童クラブは利用できない（4月の時点で定員いっぱい）。ワーク・ライフ・バランスということが話題になっているけれど、本当にたくさんの女性が目一杯働くことが必要なのか。女性の立場からだけでなく、子供の立場になっても考える必要がある。私の住んでいる地域は、同学年の中で、問題行動を起こす子供や学力の低い子の割合が、児童クラブの子供達の割合が高い。共同参画も仕事中心な気がして、働いている保護者は、地域の活動への参加意識が低い。学力テスト全国43位の対策を！
- ・専門委員さんも十人十色なので、様々な意見があると感じました。評価者もそれぞれ考えを持っているので、色々な意見を聞いて検討していくのが必要で、再検討していただきたい。ただし、民主的に決めることになると思うが、少ない意見も、消すことなく進めて欲しい。ニーズ・時代に沿った事業内容の見直しをしてほしい。思いっきり判断するのも必要である。
- ・横並びの件は、やはり一般の企業だと利益（儲け）がかかってくる。一つミスをするとなん百何千万の赤字が出る。県はそういうところがないので、どうしても（お金の面で）意識が希薄になるのではないかと思う。
- ・1日の議論を聴いて、結局途中で全て終わってしまっているように感じる。アンケートをとっても、そうなんだといってそのまま終わってしまったり、県民からの意見も聴いただけで途中で終わってしまっているということが問題なのではないか。今回せっかくいい意見が出たのだから、しっかり反映させていければもっといい県になるのではないかなと思った。
- ・コミュニティの推進事業費について、コミュニティの面から考えれば確かに や無印になると思うが、自分の自治会で10年ほど前にこの事業費を利用して、公会堂を建て替えた。400万円でも実際非常にありがたい。「和を尊重する」というくくりでないところ、例えば、防災の面で補助をいただけるという風にしてもらえると、県民としても、これからそういう建物を立てやすい。ちょっと建てるのに4000万以上かかる。実際私のところも30万負担している。そうすると400万いただけるのは非常にありがたい。